

問 1

【病歴】

血尿を主訴に A 病院を受診。画像検査で右腎盂腫瘍を認め、精査加療のため当院へ紹介。

【経過】

膀胱鏡による検査で、膀胱内に明らかな腫瘍を認めず。エコー検査で右腎盂腫瘍を認めるも、上皮内に留まる所見。CT 検査でも周囲浸潤なく、周囲のリンパ節にも転移を認めず。生検施行し、非浸潤性乳頭状尿路上皮癌の診断となる。

手術を検討も過去に左腎摘あり透析導入のリスクがあることから、経過観察を提案するも本人は治療を希望。腎機能温存を図るため BCG 療法を施行した。

BCG 終了後の画像所見では腫瘍を認めず、嚴重フォロー中。

<回答>

部位コード	C659	cTNM	Ta N0 M0
部位テキスト	右腎盂	臨床的病期	0a
組織型コード	8130/29	臨床的進展度	上皮内
組織型テキスト	非浸潤性乳頭状尿路上皮癌	付加因子	該当なし
側性	右	pTNM	手術なし
		病理学的病期	手術なし
		病理学的進展度	手術なし
		付加因子	該当なし
		観血的治療の範囲	手術なし

問 2

【経過】

2024 年 1 月 18 日

定期尿細胞診で癌疑いの判定となり、CT 検査を施行。左下部尿管に腫瘍を認める。筋層に浸潤も周囲脂肪組織との間は比較的保たれており、周囲リンパ節の腫脹が複数あるも転移と判断されるものは見当たらず。同日、エコー検査を施行。腫瘍の一部に脂肪組織への突出を認める。腫大リンパ節は認められず。

2024 年 1 月 19 日

膀胱鏡検査を施行。膀胱内に明らかな腫瘍病変はみられず、左尿管癌の診断となる。

2024 年 2 月 26 日

ロボット支援下腎尿管全摘術を施行。

【手術病理】

左下部尿管部に中程度の分化を示す尿路上皮癌を認めます。脈管侵襲を認めますが、リンパ管侵襲は認められません。腫瘍は全て筋層に留まっています。尿管、尿道、剥離面に癌の遺残を認めません。

<回答>

部位コード	C669	cTNM	T3N0M0
部位テキスト	左下部尿管	臨床的病期	III
組織型コード	8120/32	臨床的進展度	隣接臓器浸潤
組織型テキスト	中分化型尿路上皮癌	付加因子	該当なし
側性	左	pTNM	T2N0M0
		病理学的病期	II
		病理学的進展度	限局
		付加因子	該当なし
		観血的治療の範囲	腫瘍遺残なし

問3

【病歴】

血尿を自覚し、かかりつけ医を受診しようとするも急に動けなくなり当院へ救急搬送となる。

【経過】

緊急膀胱鏡検査施行。膀胱内に巨大腫瘍を認め、多量の出血も伴っている。CT 検査で右尿管から膀胱にかけて広範囲に腫瘍を認め、腫瘍は尿管壁を越えて膀胱へ浸潤している。右腎門、腹部大動脈周囲、左外腸骨リンパ節に多数の転移がみられる。画像所見より尿管癌の膀胱浸潤と診断。腫瘍減少および止血目的に膀胱内病変に対して TURBT を施行。膀胱内腫瘍の大部分を切除でき、止血も成功した。

後日、腫瘍が広範囲に広がっており切除不能であること患者へ説明し、化学療法を提案。

退院後に外来で GEM+CDDP を開始した。

【手術病理】

切除した病変全てに浸潤性尿路上皮癌を認めます。これらは扁平上皮の分化を伴っています。尿管壁を越えて浸潤している膀胱内の病変は筋層まで達しています

<回答>

部位コード	C669	cTNM	T4 N2 M0
部位テキスト	右尿管	臨床的病期	IV
組織型コード	8120/39	臨床的進展度	隣接臓器浸潤
組織型テキスト	扁平上皮への分化を伴う尿路上皮癌	付加因子	該当なし
側性	右	pTNM	T4 N2 M0
		病理学的病期	IV
		病理学的進展度	隣接臓器浸潤
		付加因子	該当なし
		観血的治療の範囲	腫瘍遺残あり

問 4

以下の症例について多重がん判定を行い、【 】に判定結果（多重か単発か）を＜＞に該当するルール（例：M1）を記載してください。

①複数の上皮内尿路上皮癌を左腎盂と左尿管に認める（同時性）。

判定結果【 単発 】 該当ルール＜ M7 ＞

②右腎盂に腫瘍を認め、同時に左腎盂にも腫瘍を認める。

左腎盂は微小転移の診断。右腎盂の手術を施行し、偶発的に膀胱にも腫瘍を認めた。

・病理結果

右腎盂：adenocarcinoma 膀胱：carcinoma

判定結果【 単発 】 該当ルール＜ M9（注釈より） ＞

③2021年1月に右尿管に浸潤性の尿路上皮癌を認め、同月手術施行し遺残なし。

2024年8月にCT検査で左腎盂に腫瘍を認める。

医師は臨床的に尿路上皮癌の再発と診断した。

判定結果【 多重 】 該当ルール＜ M12 ＞

④右腎盂、右尿、尿道にそれぞれ独立した浸潤癌を認める。

・病理結果

右腎盂：micropapillary urothelial carcinoma

右尿管：poorly differentiated carcinoma

尿道：squamous cell carcinoma

腎盂－尿管 判定結果【 多重 】 該当ルール＜ M8 ＞

腎盂－尿道 判定結果【 多重 】 該当ルール＜ M9 ＞

尿管－尿道 判定結果【 多重 】 該当ルール＜ M9 ＞